

受付番号	11		
許可番号	大歯医倫 第 110979 号		
研究課題名	高齢者の全身性サルコペニアと口腔サルコペニアとの関連性の検討		
研究責任者	高橋 一也	申請者	小渕 隆一郎
研究終了日	2023 年 4 月 30 日		
所属	高齢者歯科学講座	所属	歯学研究科 高齢者歯科学専攻
職名	主任教授	職名	大学院 3 年生
申請の概要			

我が国の高齢化の現状は、他国に類を見ない勢いで超高齢化社会への一途をたどっている。フレイルでも、早期介入を行えば回復が可能であると言われている。フレイルの構成要素としてはサルコペニアが挙げられている。そこでフレイルの一つの要因であるサルコペニアに注目した。高齢者は摂食嚥下機能が低下することがよく知られているが、老人性の嚥下機能低下は老嚥と言われており、摂食嚥下障害とは異なる。しかし、老嚥の高齢者にサルコペニアを亢進させる要素が加わると摂食嚥下障害が生じると若林と前田らは提唱している。このことより老嚥からサルコペニアの摂食嚥下障害への進行を防ぐためには、老嚥の早期発見が重要になる。しかし、高齢者を対象としたサルコペニアの研究は少ない。また、早期に口腔機能の低下を早期発見することは重要だが、口腔サルコペニアの診断基準はなく、より一層の臨床研究が待たれるところである。そこで、本研究では口腔サルコペニアに対する検査項目の確立への一助となるよう、高齢者を対象に全身性サルコペニアと口腔サルコペニアとの関係性を検討することとした。本研究により、全身性サルコペニアと口腔サ

---

ルコペニアの関係が明らかになれば、口腔サルコペニアの診断基準の確立への一助となることが期待される。